



役員会

コミ協の活動状況

総務部会 村木正徳

24・3・1発行の第9号コミ協だよりに引き続き活動状況を報告いたします。

3/12 64回役員会に於いて第8回コミ協合同総会の日程を5月13日(日)とし役割分担を協議しました。

4/16 65回役員会に於いて健康福祉課・地域福祉係より4名の出席があり「超高齢地域ささえあいモデル事業」の要請を受ける。二葉・舟栄中学校統合問題の大筋が纏まり、協議。

5/08 区自治協議会に於いて協議された震災

に於ける瓦礫処理受け入れについて説明

5/13 コミ協の合同総会が実施されました。
5/15 新潟県コミ協連絡会に2名出席 各コミ協の現状を話し合い、次回は各部会(分科会)で協議する事を決定しました

5/20 安全環境部会で、つつじ祭りに合わせ交通安全教室を開催。40名の参加が有りました。
5/29 入舟・栄・湊・豊照の4コミ協連名で二葉・舟栄中の統合について、要望書を市へ提出しました。

6/24 自主防災会による防災訓練を実施

7/04 入舟・栄コミ協による〔超高齢者ささえあい支援事業〕モデル地区指定へのワークショップ開催

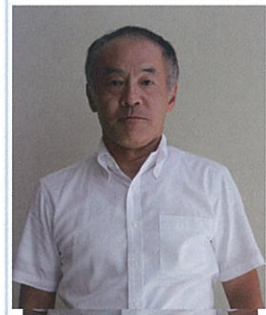
7/13 新潟県コミ協連絡会開催(分科会)に6名参加

8/07 福祉文教部会で超高齢者支えあいモデル事業の第1回検討会を開催しました。

8/08 中央区コミ協意見交換会に2名出席

8/26 第9回入舟コミ協懇談会を開催しました。

総務部会



入舟小学校 校長 佐藤 秀彦

大江 信濃川が日本海にそそぐほとりに位置する入舟小学校。学校に寄せる期待をしっかりと受け止めて、子供達のために学校・家庭・地域がスクラムを組み、力を合わせ「学び合う子」「認め合う子」「自己と競い合う子」をめざした教育活動を推進していきたいと思ひます。

今後ともご支援、ご協力をお願いいたします。

入舟地区に新任となりました どうぞ宜しく。



入舟連絡所主任
近藤 健一



豊照交番所長
山本 隆



附船交番所長
坂井 行夫



消防署附船出張所長
浅田 晃

編集後記

☆本号は第10号となりました。平成19年の秋に創刊以来、満5年が経過しました。この間、コミ協の事業を広報し、広くコミ協を地域の皆様に理解してもらえよう努力してきました。年2回の刊行が定着したとはいえ、何ヶ月にもなる時差に当惑しつつ、限ら

れた誌面の限定と格闘しつつ作り上げた成果であります。これからもより良い広報誌を目指し、向上に努めたいと思ひます。更なる皆様のご協力を期待します。

編集委員;鈴木喬、高橋誠一、田村幸夫
村木正徳、明間博隆、古寺昭治



第10号
発行: '12.10.1
発行所: 入舟小学校区
コミュニティ協議会
責任者: 総務部会 村木 正徳



コミ協総会

就任のあいさつ

入舟コミ協会長

田村 幸夫



この度、鈴木正雄前会長より入舟小学校区コミュニティ協議会の会長を引き継ぎました田村幸夫でございます。

入舟コミ協のモットーであります「安心・安全なまちづくり」の精神を継承し、更なる前進を心掛ける決意でいます。ほめられると「力」を出せる性格の人間であります。宜しくお願い致します。

コミ協とは何かを考えますと地域の関係諸団体と連携をとり各自治会・町内会がそれぞれ環境の中で、今現在抱えている様々な問題点を提示し、解決して行ける場である

と思ひます。そのためには部会や会議等に積極的に参加をし、遠慮のないご意見を発言される事が大事であると思ひます。

最近の当コミ協の現状を見ますと、急を要する色々な課題が山積しています。

その1つは防災に対する意識の希薄さを感じられる事です。それに津波避難場所も絶対数が足りません。2つ目は超高齢者の支援策と小・中学校の統合問題です。いずれの課題も一日も早い解決が望まれております。

どうぞ、これからもこの地域に住んで良かったと思える安心で安全な街にして行きたいと思ひますのでそれには皆様一人一人の力と知恵をお貸し下さい。今後とも、ご協力の程よろしくお願い申し上げます

第10号の発刊を記念し、既刊の表紙写真を再掲載。



二葉中・舟栄中の統合が決定

入舟コミ協 会長 田村 幸夫

両中学は少子化や都市のドーナツ化などにより、子供の数が少なくなり地域の学校規模が小規模になって来ました。そこで、子供達にとって良い教育環境を実現するために、校区内の4つのコミュニティ協議会(入舟、栄、湊、豊照のコミ協)と両中学校PTAのそれぞれの会長が発起人となり、「二葉中学・舟栄中学校区地域検討会」を本年1月に立ち上げました。

1月25日(水)に第1回目の地域検討会が委員数35名で本格スタートを切りました。毎月行われた検討会は公開性を取り入れ、市のホームページにも掲載されました。検討会の当初は編入を支持する意見が多数あったが、会議を重ねる度に、生徒の気持ちを第1に考えるべき

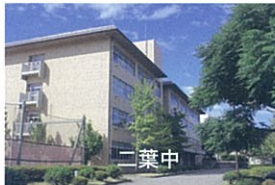


舟栄中



との意見が多く出され最終的には統合が望ましいとの結論に達しました。4つのコミ協は統合についての提言をまとめ5月29日に市長と教育長に要望書を提出致しました。

その結果、願いが叶い7月13日に教育委員会で統合が決定されました。来たる平成26年4月の開校を目指し、準備委員会を立ち上げました。新しい伝統を創るため、学校、地域が一丸となり遂行されることを望んでおります。



二葉中

「児童の安全安心を守る」

防犯協会 高橋誠一

去る五月二十日「新潟下町・早川堀通りつつじ祭り」の会場において、入舟小学校区交通安全推進協議会主催による、自転車安全教室を開催しました。近隣小学校三校の五十人以上の児童たちが区役所職員の指導の下、熱心に自転車乗りのマナーやルールを学びました。

勉強の後は楽しみがあるようにいつものように変り種自転車に乗ったり、白バイ隊員と一緒に記念撮影、そして今年初めて来場した高速道パトカーとの写真撮影は大いにはしゃぎ、盛り上がったイベントでした。でも一番はしゃいでいたのは、お父さんお母さんだったかも知れませんね。



また六月に行われた安全パトロールは、全国で新年度から通学路における交通事故が頻繁している事から、通学路の再認識を重点項目として、巡回しました。

全国で通学路は30キロ規制にしよう「ゾーン30」運動が推進されていますが、今回、①入舟小学校周辺の道路は20キロ30キロ規制に既になっていた事②7時半から8時半まで車両通行禁止になっている場所もあった事も確認されました。私たちコミ協安全環境部会はこのように児童の安全安心を守るべく活動を日夜行っております。

また毎月第二月曜日、朝7時半から8時は児童街頭指導日です。私たち部員や町内会長は各町内や学校付近の交差点に立っておりますが、それだけに限らず、一人でも多くの皆さんに児童の登校を見守りいただけますようお願いいたします

安全環境部会



入舟小

講演会

津波避難訓練

自主防災会 明間 博隆

6月24日の防災訓練に多数のご参加を頂き有難う御座いました。昨年までは地震を想定した内容でしたが、本年度の訓練は津波を想定した初の試みで実施致しました。避難所を舟栄中学校・北部コミセン・入舟小学校の3ヶ所に指定し、各避難所毎に到着した各自治・町内会で集計した避難者数を、



本部へ無線で報告し、午前9:30には予定通り避難訓練を終える事が出来ました。

10時より開会式に引き続き山村武彦氏の講演の中で、「津波への対応は時間との戦いである。四階以上の建物に逃げる。災害については小学生の年代から教育を行っていくべきだ」との助言が大変に心に残りました。

訓練には若い人に災害に対する危機感を持って頂く工夫が必要ではとの意見がありました。

<反省会での主な意見内容>

(1)・避難誘導で三階以上へ要援護者の移動を頑張りましたが、介助する人も高齢化しており、若い力がどうしても必要です。

訓練には若い人に災害に対する危機感を持って頂く工夫が必要ではとの意見がありました。



(2)・各自治・町内会での事前の打ち合わせが大切で、地域住民への地震及び津波の危険性を、住民に周知が必要ではないでしょうか。

(3)・津波の場合、時間との戦いで高齢者の援助を何処まで出来るか、これからの自治・町内会での最も重要な課題となるのではないのでしょうか。

(4)・津波避難場所としてお願いしている場所が、夜間には大変厳しいセキュリティに成っている為に、事実上無理があり機能しないのではとの意見が有り、今後の課題として検討して行きたいと思えます

(5)・最後に入舟小学校の佐藤校長先生より、「このような訓練は今まで見た事が無かった。とても感動した」とのお褒めの言葉を頂きました。当日の参加者は1060名でした。来年度も本年以上に災害に対しご理解を頂き、より多くの参加を御願ひ致します。

自主防

今後の予定;

婦人部では10/20 視察

中越メモリアル 回廊 きずな館



舟栄中から入舟小へ移動



舟栄中に避難